

Stainless Muffler

MBK8500

取付・取扱説明書



株式会社オートエクゼ

〒104-0054 東京都中央区勝どき 4-6-1

TEL 03-3531-8151 FAX 03-3531-8152

この度は、オートエクゼ ステンレスマフラーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車両に組付る前に行う作業、組み付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付の際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

⚠️ ご注意 当製品の装着にあたっては、以下の注意事項を厳守してください

1. 本書に記載する説明に従って装着を行うこと。本書に記載する以外で、当製品の取付上やむをえない場合を除く製品の加工・改造・分解および、車両の改造は絶対行わないこと。
2. 当製品の通常の取り付けに関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、作業の方の方は自動車整備を専門に3年以上経験をされている方、又は当該経験者の監督下で作業が可能なる方を原則とします。
3. 純正部品の取外・取付作業は、マツダ(株)発行の整備解説書を参照して作業を行うこと。
4. 当製品の装着は、下記に記す適合車種欄に記載する車両にのみ行うこと。
5. 製品は、原則としてクレームには応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、車体に改造が施されていたり、純正でない部品が取り付けられていた場合、または日常点検を怠ったために発生した事故等については、一切の責任を負いません。
6. その他の取扱につきましては、別添の取付・取扱説明書をご参照ください。

⚠️ ご注意 当製品の装着・ご使用にあたっては、以下の事項をご確認ください

1. アクセラの純正マフラーは2次触媒部がメインサイレンサーに一体成型されているため、当製品の装着に際しては純正マフラーの触媒部直後での切断作業後、触媒部を再使用する構造となります。
2. 当製品は、グレードによるリアバンパー形状の違いや、当社製BK-02リアバンパーの装着にあたって最適なテールガーニッシュ位置とする為、可動テールガーニッシュ構造を採用しています。当製品を装着の際には、取付要領書の指示に従って確実にテールガーニッシュの長さ調整を行ってください。これを怠りますと、テールガーニッシュ位置が車枠よりもはみ出て、火傷や怪我の原因、排気ガスの室内進入の発生、また道路運送車両法上不適合となる場合があります。十分にご確認ください。

SUS304ステンレス材の取扱について

1. 本製品はオールステンレス素材バフ仕上げ製品となっており、きれいな状態を保つには日頃のメンテナンスが必要です。
2. ステンレス材の色焼けは素材の特性ですので、あらかじめご了承ください。
3. 取付の際及び使用中は、油よごれや手あか等が付着しているとムラ焼けの原因となります。付着した場合は柔らかい布などを使用し、油分を完全に取り除いてください。
4. 汚れがひどい場合やムラ焼けが発生したときは、早めに金属用コンパウンド(細め)で磨いてください。

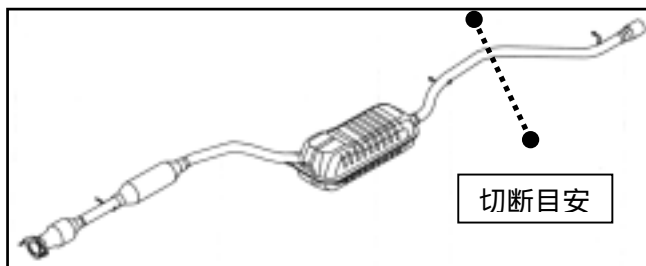
適合車種

MBK8500 : アクセラ・アクセラスポーツ 23S / 23H (BK3P) , 20S / 20C / 20H (BKEP)

構成部品

	部品名称	仕様	数量
	メインサイレンサー	ステンレスSUS304製 50.8	1
	テールガーニッシュパイプ	ステンレスSUS304製 固定バンド付 50.8 90.0	1
	U字バンド	メインサイレンサー 差し込みフランジ部固定用	1
	板ガスカート	メインサイレンサー テールガーニッシュパイプ部フランジ用	1
	ボルト	M10×35	2
	ワッシャー	10.5×18×2.0	2
	ナット	M10	2
	JASMA登録認定書		1

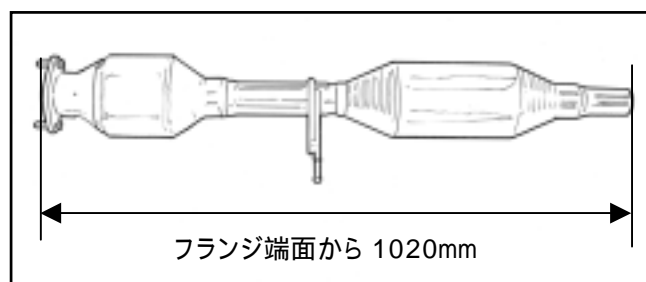
1. 純正マフラーを取外す為、右図を目安にリアサスペンションメンバー上付近で、パイプカッターやサンダーなどを使用して純正マフラーを切断します。尚、作業上の理由などで純正マフラーを切断せずに取外す場合は、リアキャリア左右、リアショックアブソーバー下側取付部左右、エンジンアンダーガード左右、チャコールキャニスターホースの順に部品を取外した後、リアサスペンションメンバー固定ボルト6箇所を取外し、マフラーがメンバー上を通過するまで、リアサスペンションメンバーを下げて取外します。



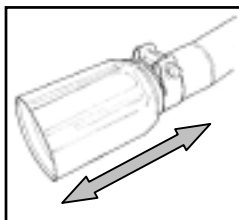
危険！

マフラーの切断に際しては、車両火災や怪我を防止する為、車両に火花等が飛散しない様耐熱布等で保護措置を行い、作業者の方も保護メガネ・保護手袋等を使用して安全に作業を行ってください。

2. 純正マフラーフランジ部のナット2箇所、トンネルメンバー‘A’、ブレイスバー、マフラーハンガーを取外し、純正マフラーを車両より取外します。尚、サスペンションメンバーを下げてマフラーを取外した場合には、このときメンバーを元に戻します。
3. 純正マフラーから2次触媒部を再使用するため、パイプカッターやサンダーなどを使用して、右図の位置で純正マフラーを切断します。なお、この際、切り口のバリなどはきれいに取り除き、端部は軽く面取りを行ってください。



4. 3で切断加工した2次触媒を、純正ガスケット、純正ナットを使用して規定トルクにて車両に取付けます。
5. メインサイレンサーの差し込みフランジ部に U字バンドを通し、メインサイレンサーを車両に組み付けます。その際メインサイレンサーをリアサスペンションメンバー上に先に通した後、差し込みフランジを純正2次触媒に差し込み、その後マフラーハンガーを装着すると作業が容易になります。尚、U字バンドは仮組みの状態としておいてください。
6. 板ガスケット、ボルト、ワッシャー、ナットを使用して、テールガーニッシュパイプを車輛に仮組みします。
7. 装着する車両のリアバンパー形状に合わせて、可動テールガーニッシュの長さ調整を行います。



⚠ 可動テールガーニッシュ調整上の注意

可動テールガーニッシュの調整は、テールガーニッシュ直上のバンパー面から極力突出しない範囲で、かつできるだけ長くなる位置で調整を行ってください。バンパー面からの突出が大きいと火傷や怪我を負ったり、また道路運送車両法上不適合となる場合があります。また、バンパー面から奥まわっていると排気ガスの室内進入などが発生することがあります。

8. 純正バンパーの切り欠きの中心にテールガーニッシュパイプが位置しているか、また車輛各部にマフラーが干渉していないかなどを確認した後、U字バンド、ボルト、ナット、テールガーニッシュ固定バンドを本締めします。
9. 2で取外したトンネルメンバー‘A’、ブレイスバーマフラーを車両に組み付けた後、マフラー本体に付着した、汚れ、油分をきれいに取り除き作業完了です。